



今日からあなたも、投稿者。

投稿希望者はこちら!

可児市ふるさと広報大使 塚本明里さん

全国初、市民行政一体型フェイスブック「かにすき」では、市民と市職員が投稿者となって市の魅力を発信しています。可児を愛するあなた。投稿者としてイベントや子育て、おすすめスポットなど、可児の情報をみんなに発信しませんか。

かにすき かにすき 可児 検索

図書館だより

図書館本館 (広見) ☎5120
 帷子分館 ☎8530
 桜ヶ丘分館 ☎3473

開館時間 本館 火～金 午前10時～午後7時
 土日祝 午前10時～午後5時
 帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

休館日 本館・分館共通
 毎週月曜日、27日(金)

※桜ヶ丘分館は1日(日)は休館します。

展示のご案内 (本館)

「歴史と文化の香るまち『兼山』展 (兼山公民館)
 期間 11月11日(水)～26日(木)
 北に木曾川、南に国史跡の美濃金山城跡を望み、かつては商業のまちとして栄えた小さな地区「兼山」に息づく歴史と文化を紹介します。手芸・写真・俳句などさまざまな手法を用いた作品とパネル展示で兼山の魅力をお伝えます。

かにっ子タイム

毎週土曜日午後2時から行います。
 ○パネリアター
 日時 11月21日(土)
 場所 図書館本館3階
 出演 ふしぎな泉上演部
 ○クリスマス特集
 期日 12月12日(土)
 場所 図書館本館3階
 出演 人形劇団パン
 演目 ジャングル少年ターザン
 定員 親子50組(先着順)
 申込開始 11月18日(水)

新しくいった本

「Aではない君と」 薬丸岳 / 著 (講談社)
 「お皿の上の生物学」 小倉明彦 / 著 (築地書館)
 「ルルン=ナンダーのほし」 やなせたかし / 作・絵 (復刊ドットコム)
 「岸辺のヤービ」 梨木香歩 / 著 小沢さかえ / 絵 (福音館書店)

広報番組のお知らせ

ケーブルテレビ可児で
いきいきマイタウン
 11/7(土)～13(金) ようこそ!市長室へ
 11/14(土)～20(金) 好きなのはカニダー
 11/21(土)～27(金) 簡単!山ごはんレシピクルートで行こう!
 11/28(土)～12/4(金) 弥七田古窯跡発掘調査

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・21:00
 土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00

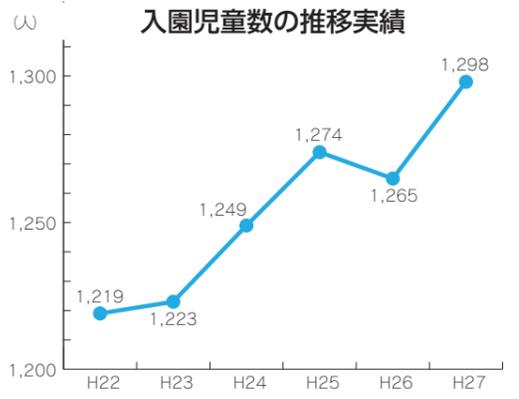
FMららで
可児市役所からこんにちは
 11/5(木) 11:20～ ようこそ!市長室へ
 11/12(木) 11:20～ 可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」
 11/19(木) 11:20～ 子ども・若者育成支援強調月間
 11/26(木) 11:20～ 可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」
おはよう可児市役所 月～金曜日 8:00～
発見!可児の魅力 毎週土曜日 10:00～

もう一度確認を! 災害時の情報収集

すぐメールかに
 あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。

「防災無線」電話で確認サービス
 専用電話番号 ☎0574(6)1548
 防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。
 ※通話料金が必要です。
 ※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

「マイナス10カ月から つながる まなぶ かかわる 子育て」
 お母さんのお腹に大切な生命が宿ったとき(マイナス10カ月)から、可児市の子育て支援が始まります。
 家庭や地域はもちろん、我が国の将来を左右するほど少子化が深刻化している中で、子育て支援は可児市にとっても最重要政策です。その中で、10年程前から3歳未満児(以下未満児)の保育ニーズが高まりはじめ、その希望にどう応えていくかが課題となってきました。
 保育園入園の待機児童が全国的にも課題となる中、可児市でもいよいよ対応しきれなくなってきました。今年度の保育園入園者数は



過去最高の1,298人となり、特に未満児を中心に途中入園の申し込みが急増してきたことが大きな要因です。平成25年度に、子育て世帯へのニーズ調査を基にして

将来の入園予測を行っています。しかしながら、1、2歳児は平成31年度の入園者予測数を、現時点で既に超えてしまう状況となりました。

急増する未満児保育ニーズに対応するため、計画を前倒しして、民間の小規模保育所(未満児対象)の開所などを急ぐことにしました。10月に川合地内で「梶の木保育園」が新たに開園しました。さらに2園ほど、平成28年度の開園に向けて準備を進めています。また、坂戸にある公共用地を民間に無償貸与することで、80人(100人程度)の認可保育所を整備すべく、平成29年4月の開所に



向けて、急ピッチで事業を進めているところですが、併せて、私立幼稚園の認定こども園(0歳から受け入れ可)への移行について働きかけをしたり、幼稚園でも延長保育など預かりサービスが充実していることを積極的にPRしていきたいです。

現在、未満児の通園率はおおむね0歳児7%、1歳児21%、2歳児27%となっており、増加する可能性があります。また、共働き夫婦の増加、女性の労働意欲の高まり、企業活動の活性化と労働力不足なども相まって、保育ニーズは高水準で推移すると思われまます。その受け皿づくりへの的確な対応が必要です。

一方で、親子が一緒に過ごす時間は何事にも代えがたく、未満児には一層重要な時間です。親子のコミュニケーションが、その子の社会力を育て、高める大切な第一歩です。授かった幼い生命が、精一杯成長してくれるよう、大切に育んでいくことが、私たちの最大の使命ではないでしょうか。

高まる保育ニーズへの対応



可児市長 塚本明里